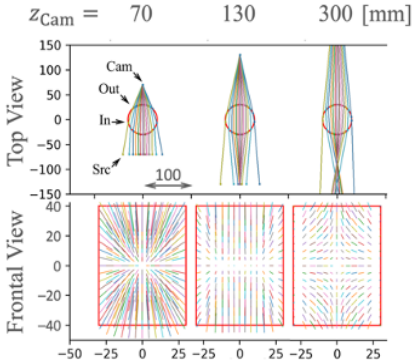
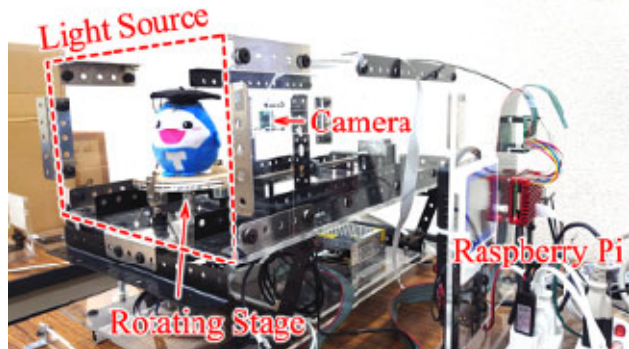


【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2023年11月25-26日
学会名	第12回3次元ゲル線量計研究会
演題名	In-air readout 光学 CT の開発
発表者	○ <u>小金澤 明登</u> , 和田 拓也, 中島 健雄
内容	色素ゲル線量計の読出しに用いる光学CT (optical computed tomography, OCT) は水槽を用いる方式が一般的であるが、大容量のマッチングリキッドを要する。そこで近年では水槽を用いない in-air readout OCT (IAR-OCT) も検討され始めている。小金澤研究室ではIAR-OCTの開発を行っており、これまで3次元光路シミュレーション、実機製作、屈折率測定法の開発等を行ってきた。発表ではこれまで開発の進捗を振り返り、今後の研究計画、特に被写体の屈折率の精密測定法の開発、被写体内の光路補正による断層写真の歪み補正、屈折現象を活用した被写体の3次元形状測定、またマルチスペクトルイメージングの可能性について述べた。
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3次元光路シミュレーション</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>In-air readout 光学 CT 装置</p> </div> </div>